

● 草の根パートナー型

2014年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ミャンマー
2. 事業名	ミャンマー国ヒ素汚染地域における衛生保健の実施体制強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>ミャンマー国（以下、ミ国とする）では、農村地域の主要な飲料水源である地下水がヒ素に汚染されており、ユニセフの援助のもと全国規模で行なわれた調査では（253,812サンプル）、WHOの基準値（10ppb）を超えるものが32%という高汚染率であった。しかし、ヒ素による健康被害の状況は、組織的な調査が不十分なため不明確となっている。一方、ヒ素汚染が集中している地域の住民は飲料水の健康リスクを認識せずに日常的に飲用している状況がある。また、同時に不衛生な飲料水が原因となる寄生虫感染による下痢・嘔吐を伴う消化器疾患等の疾病や、免疫系の低下による小児呼吸器感染症等も問題となっている。</p> <p>これらに対し、ミ国保健省は現在、農村部の飲料水対策を含めた住民の健康を守るための総合的な環境保健対策に高い問題意識を持って取り組んでいるが根本的な解決とはなっていない。そこで、本学は保健省並びに畜水産・地方開発省と協議を重ね、優先される解決課題として、ミ国農村部においては、1) 住民の健康に関わる基礎データが整備されておらず、行政が科学的な分析を行うことや合理性のある対応策をとる上で一つの障害となっている、2) 更にヒ素汚染や寄生虫感染に関するミ国の水処理技術は極めて低い水準であるため、十分な対策がなされていないことが認識された。</p> <p>本事業では、その課題解決のため、まずは1) 地域住民の健康に関する基本的な保健情報の整備、2) ヒ素汚染地域における安全な水供給、3) 住民の意識啓発という保健と水供給の両面からの対策を実施することとした。なお、事業地は、高度なヒ素汚染が確認されているエーヤワディー管区を選定した。</p>
4. プロジェクト目標	ヒ素汚染地域における基本保健情報整備及び飲料水対策により衛生保健の実施体制が向上する。
5. 対象地域	エーヤワディー管区、タバン郡区
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	対象地域の住民約5千人 ベースライン7村、内対策実施1~2村
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>事業地における住民の健康に関する基本的な情報が整備される。</li> <li>現地の状況に適した安全な水供給モデルが構築される。</li> <li>住民の安全な飲料水に対する認識が向上する。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 既存情報の収集と整理</li> <li>1-2. ヒアリング調査（住民の生活環境及び基本的な健康状態）の実施</li> <li>1-3. DMR（ミ国保健省医学研究局）医師による問診等の実施</li> <li>1-4. 上記1-1~3までの情報の解析</li> <li>1-5. 衛生環境疫学調査のガイドライン化</li> <li>2-1. 飲料水、生活用水の実態調査及び汚染源の確定</li> <li>2-2. 汚染源及び健康状況に応じた対策の検討</li> <li>2-3. パイロット実施場所の選定</li> <li>2-4. 対応策もしくは代替水源等の対策実施</li> <li>2-5. 水源の維持管理体制（既存の住民組織を利用）の構築</li> <li>2-6. 設置・維持管理手法のマニュアル化</li> <li>3-1. 対象村の住民認識度、啓発活動の状況調査</li> <li>3-2. 啓発教材の検討</li> <li>3-3. 啓発活動の実施</li> <li>3-4. エバリーエーションサーベイ（KAP調査：住民の意識・行動変容調査）の実施</li> </ol>
8. 実施期間	2015年8月~2018年7月（3年）
9. 事業費概算額	49,993千円
10. 事業の実施体制	<p>事業実施団体：国立大学法人 宮崎大学  協力支援団体：宮崎県保健医療機関、NPOアジア砒素ネットワーク  カウンターパート：保健省 医学研究局</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人 宮崎大学
2. 活動内容	教育、研究、地域貢献、国際交流